

「未来の日曜美術館のアーティストは誰だ？」展

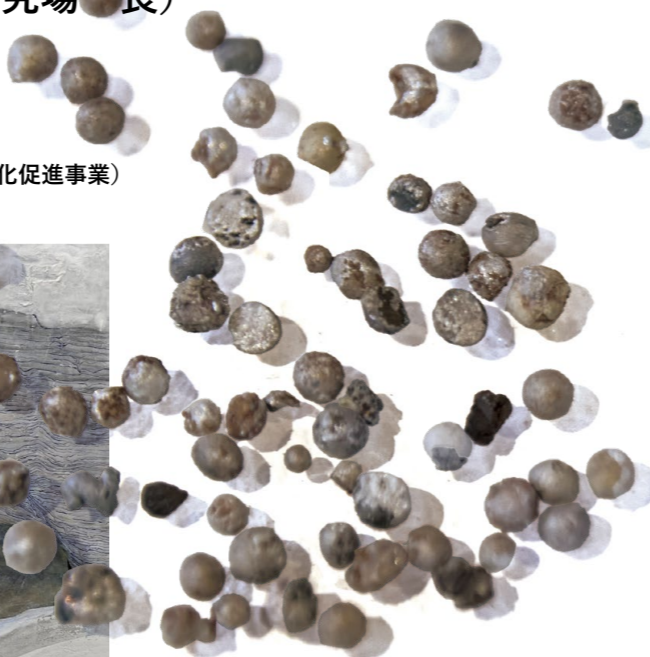
—東京藝術大学の新たな領域へ作家たちは挑戦する!—

荒川 弘憲 / 柴田早穂 / なみちえ
堀田 光彦 / 今里亮介 / 吉成望歩 / 水瀬輝
奥村 美海 / イェラシェビッチ・イリヤ

2026.3.28 Sat – 5.10 Sun
東京藝術大学 本部棟1F

時間 | 10時–17時 (入館は閉館の30分前まで)
観覧無料 / CLOSE | 月曜日、ただし5月4日はOPEN
展覧会公式webサイト | <https://geidai-park.geidai.ac.jp>

監修 | 日比野克彦 (東京藝術大学長 / 芸術未来研究場 長)
主催 | 東京藝術大学 芸術未来研究場



Who will be the future Sunday Museum artists?

– Artists challenge new frontiers at Tokyo University of the Arts! –

Arakawa Koken / Shibata Saho
Namichie / Hotta Mitsuhiko

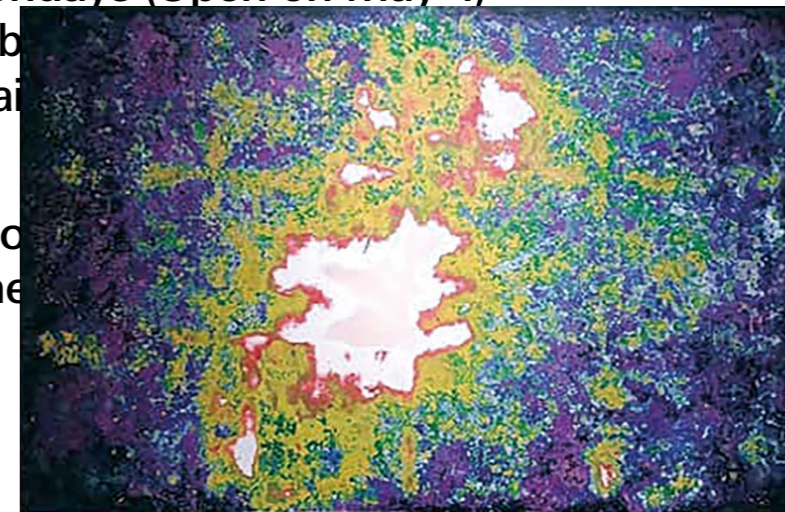


Imazato Ryosuke / Yoshinari Noa / Minase Hikari
Okumura Minami
Yerashevich Ilya

2026.3.28 Sat – 5.10 Sun
Tokyo University of the Arts,
Administration Bldg. 1F

Hours: 10:00 – 17:00 (Last entry 16:30)
Admission: Free
Closed: Mondays (Open on May 4)
Official Website: <https://geidai-park.geidai.ac.jp>

Supervised by: Katsuhiko Hibino
(President, Tokyo University of the Arts / Director, GEIDAI PARK)
Organized by: GEIDAI PARK



「未来の日曜美術館のアーティストは誰だ？」展

—東京藝術大学の新領域へ作家たちは挑戦する!—

会期 | 2026年3月28日 | 土 | — 5月10日 | 日 |

会場 | 東京藝術大学 本部棟1F

時間 | 10時 - 17時 (入館は閉館の30分前まで) / 観覧無料

CLOSE | 月曜日、ただし5月4日はOPEN

展覧会公式webサイト | <https://geidai-park.geidai.ac.jp>



この春、東京藝術大学大学美術館において「NHK日曜美術館50年展」が開催されます。(2026年3月28日-2026年6月21日。会期終了後、静岡県立美術館、大阪中之島美術館に巡回)これに連動して

「未来の日曜美術館のアーティストは誰だ？」展-東京藝術大学の
新領域へ作家たちは挑戦する!-と題した展覧会を実施します。

藝大は未来のアーティストを生み出す場であり、日々、創造や表現
の新たな領域を目指し試行錯誤が行われています。本展では
アーティストが今、取り組んでいる作品を展示します。

これらの作品を通し、芸術の「これから」を感じていただくと
幸いです。

参加アーティスト

荒川弘憲 | Arakawa Koken

イェラシェビッチ・イリヤ | Yerashevich Ilya

今里亮介 | Imazato Ryosuke

奥村美海 | Okumura Minami

柴田早穂 | Shibata Saho

なみちえ | Namichie

堀田光彦 | Hotta Mitsuhiko

水瀬 輝 | Minase Hikari

吉成望歩 | Yoshinari Noa

監修=日比野克彦

デザイン=内山耀一郎 施工=南昂希・馬場悠輔・川原圭汰・谷口大智/運営=石河美和子

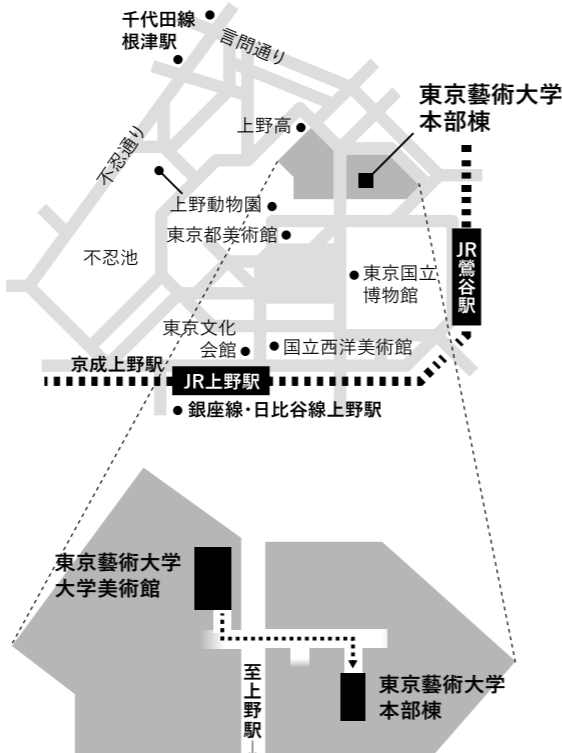
芸術未来研究場 | 空間構成=井上裕史/記録=小塚直斗/企画・制作=新妻葉子

東京藝術大学経営改革プロジェクト課

アクセス

- 東京藝術大学(〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8)
JR上野駅(公園口)より徒歩10分
東京メトロ千代田線根津駅(1番出口)より徒歩10分
京成上野駅(正面口)より徒歩15分
東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅(7番出口)より徒歩15分
※ 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。

- 大学美術館から本部棟まで
美術館正面入口を出て、美術学部の校門を背にし、横断歩道を渡り音楽学部の校門に入って正面に見えるガラス張りの建物です。



「NHK日曜美術館50年展」

webサイト | <https://nichibiten50.jp>

会期 | 2026年3月28日 | 土 | — 6月21日 | 日 |

会場 | 東京藝術大学大学美術館

主催 | 東京藝術大学、NHK、NHKプロモーション

巡回情報 |

- 静岡会場
2026年7月18日 | 土 | - 9月27日 | 日 |
静岡県立美術館

- 大阪会場
2026年10月10日 | 土 | - 12月20日 | 日 |
大阪中之島美術館

アーティスト紹介

荒川弘憲
Arakawa Koken

大学院美術研究科 美術専攻
先端芸術表現研究領域
博士後期課程在籍

荒川は、自身のコンセプトである「Jam (混雑/混合)」を通じて、身体の内側で生じるビジョンや力を再考している。テクノロジーが環境を急速に変容させる中、ゆっくりと絡まり合うようなプロセスを通じて世界を感知する「身体」の意義を追求する。完成された形態を提示するのではなく、身体との未分化な絡まり合いの状態を、世界と接触するための不安定なインターフェースとして表現している。



イェラシェビッチ・イリヤ
Yerashevich Ilya

大学院国際芸術創造研究科
アートプロデュース専攻
博士後期課程

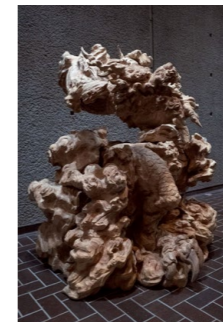
イリヤ・イェラシェビッチはベラルーシ生まれ。マサリク大学でビジュアルアートの学士号取得、在学中に台湾大学へ留学。両大学院の美術教育・製本課程に在籍後、東京藝術大学で日本画修士号取得、博士課程で日本画研究に従事。在学中に韓国成均館大学校で1学期学び、文部科学省奨学金を受給。



今里亮介
Imazato Ryosuke

美術学部 彫刻科 卒業

2002年 熊本県熊本市生まれ
2026年 東京藝術大学卒業
鑿を叩き、跡を残すという行為を途方もない数繰り返している時に、ふと木の表面からの深さを感じ、自分の彫った形が時間を経て繋がっていくように感じる。



奥村美海
Okumura Minami

大学院美術研究科 美術専攻
油画研究領域 油画 博士後期課程 在籍

ふとした落書きや仕事の帳簿に書かれたメモなど、個人の日常生活に強く結びついて書かれる筆跡を「マイクロレター」と名付けて収集し、絵画やインスタレーションを制作。筆跡の持つ個人的な歴史や文脈を書き写して挿入しながら、多層的に再構成することで、絵画自体の構造そのものを捉え直すような制作を行っている。



柴田早穂
Shibata Saho

大学院美術研究科 美術専攻
工芸研究領域 鍍金 博士後期課程修了

鍍金作家。
1986年大阪府生まれ、5歳より香川県小豆島で暮らす。鍍金作家・民俗史収集。富山大学および東京藝術大学で鍍金を学び、現在は小豆島に鍍金工房を構え、鍍金の素材採取を起点とした民俗史の収集と制作を行う。



なみちえ
Namichie

美術学部 先端芸術表現科 卒業

1997年 神奈川県茅ヶ崎市生まれ・在住。東京藝術大学先端芸術表現科を首席卒業。在学時には平山郁夫賞、買い上げ賞を受賞。音楽活動や着ぐるみ制作・執筆などマルチな表現活動を行うアーティスト。後藤正文氏が主催する「APPLE VINEGAR -Music Award-」2020にて特別賞を受賞。Forbes 30 UNDER 30 JAPAN 2020「アート」部門選出。



堀田光彦
Hotta Mitsuhiko

大学院美術研究科 工芸専攻
鍍金研究分野 修士課程修了

彫刻家、鍍金家。富山大学芸術文化学系 助教
武蔵野美術大学造形学部彫刻学科にて鑄造を始める。2018年に東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻鍍金研究分野を修了。2019年に同大学院の研究生を修了。同年9月より東京藝術大学と東御市による域学連携事業である天空の芸術祭を担当。2022年~2025年まで東京藝術大学美術学部工芸科鍍金研究室教育研究助手。



水瀬 輝
Minase Hikari

大学院美術研究科 絵画専攻
油画研究分野 修士課程修了

2001年 宮城県生まれ
2024年 東京藝術大学 修士課程油画専攻入学。
折りを手を持って制作しています。



吉成望歩
Yoshinari Noa

美術学部 絵画科 日本画 在籍

2004年 千葉県生まれ
2024年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻 入学
2026年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻 3年 在籍
日本画画材にあって、日々葛藤しながら絵を描いています。

